

JA全農ちば 営農情報集

2023
1

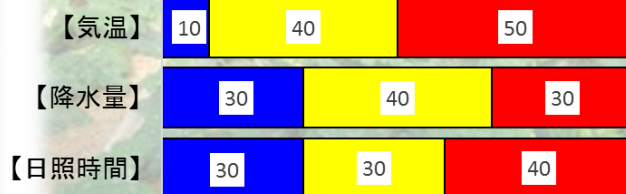
今月の情報

1. 園芸野菜 病害虫防除情報
2. Z-GIS・ザルビオ普及拡大キャンペーン
3. 安全な農作物生産の取り組みについて
～燃料の保管方法～

1月の気象について（気象庁1/5発表 長期予報（1か月）から）

1. 1月は気温が平年より高め、降水量、日照時間は平年並みと、晴れの日が多くなる予報となっています。

2. 特に、1月前半は気温がかなり高くなる見込みです。施設での温度管理には注意しましょう。



凡例 ■: 低い ■: 平年並 ■: 高い

<農薬の残留に注意！>

- ①農薬の使用基準は守りましょう！
- ②周囲への農薬飛散「ドリフト」対策を行いましょう！
- ③散布器具は毎回しっかりと洗浄しましょう！
- ④農薬散布記録簿への記帳は忘れずに！



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

気象庁発表の1か月予報によると、1月は晴れの日が多く、気温が平年よりも高くなる見込みとなっています。病害虫の発生は、年内から比較的少なく推移していますが、この時期から発生させてしまうと春先の被害が大きくなるリスクがあります。引き続き、病害虫発生前から初発生までの防除を徹底しましょう。

2. イチゴーうどんこ病・灰色かび病

(1) うどんこ病

イチゴのうどんこ病は、はじめ葉裏から発生することが多く、感染が拡大すると葉表や葉柄、果実にも被害が及びます。未熟な果実に発生した場合、肥大が悪くなるほか、成熟しても果色が悪く味も低下してしまいます。胞子の発芽適温は17～20℃前後で、空中を飛散して広がります。開花結実期に発病すると被害が大きくなるため、予防主体の徹底した防除を行いましょう。



葉に発生したうどんこ病

(2) 灰色かび病

イチゴの灰色かび病は、はじめ枯死した下葉などで病原菌が寄生増殖し、感染が拡大すると主に果実を中心に、果梗や葉柄、葉を侵します。果実が発病すると、褐変して灰色のカビを生じます。病原菌の発育適温は23℃ですが、最低2℃でも発育します。また、過繁茂状態や湿気の高いところは発病が多くなるため、薬剤防除のみに頼らず、施設内の環境改善にも取り組みましょう。



果実に発生した灰色かび病

(3) 薬剤防除

● イチゴ うどんこ病・灰色かび病 防除薬剤

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数 ※1	使用時期	使用回数	備考
うどんこ病	3	トリフミン水和剤	3000	収穫前日 まで	5回以内	予防・治療
	50	プロパティフロアブル	3000		3回以内	予防・治療
	M7	ベルコートフロアブル	2000		5回以内	予防
うどんこ病	7	ケンジャフロアブル	1500		3回以内	予防
	9	フルピカフロアブル ※2	2000		3回以内	予防
灰色かび病	7+11	シグナム WDG ※3	2000		2回以内	予防・治療
	9+U13	ショウチノスケフロアブル ※2	2000		2回以内	予防・治療
灰色かび病	12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防

※1 希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています（例：2000～3000 倍登録→2000）

※2 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて3回以内）

※3 シグナムはカンタスの成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて3回以内）



3. キュウリーうどんこ病・菌核病・灰色かび病

施設栽培での急拡大に注意！

(1)うどんこ病

キュウリのうどんこ病は、主に葉の表面に発生し、被害が進むと葉全体が白い粉で覆われ、やがて枯死します。15～28℃のやや乾燥条件下で多発します。乾燥条件では被害が早く拡大しますので、発病を認めたらずちに薬剤防除を行いましょう。

(2)菌核病

キュウリの菌核病は、茎、果実、および葉に発生します。果実では、下の写真のように花落ち部分から侵され白色の菌糸を、葉には淡褐色から灰色の大きな病斑を生じます。発病適温は20℃前後ですが、10℃以下の日が続いても発生が多くなります。また、露地栽培よりも施設栽培で発生が多くなる傾向にあります。無加温ハウスは本病発生の好適条件となるため、特に注意しましょう。

(3)灰色かび病

キュウリの灰色かび病は、主に咲き終わってしぼんだ花の部分から感染し、下の写真のような灰色のカビを生じます。感染拡大すると主に地面に近い幼果から侵し、果実を黄褐色化させ、しだいに軟らかく腐敗させます。菌核病との同時防除が可能です。が、灰色かび病菌の耐性菌の出現に注意し、同一系統薬剤の連用・多用は避けましょう。



うどんこ病の病斑



果実に発生した菌核病の菌核



灰色かび病の病斑

(4)薬剤防除

●キュウリ うどんこ病：☐・菌核病：☐・灰色かび病：☐ 防除薬剤

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数※1	使用時期	使用回数	備考
☐・菌 ・☐	M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日 まで	7回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000		3回以内	予防
		ケンジャフロアブル	1500		4回以内	予防
	11	アミスター20フロアブル	1500		4回以内	予防・治療
☐・☐	9	フルピカフロアブル ※2	2000		4回以内	予防
	9+U13	ショウチノスケフロアブル ※2	2000		2回以内	予防・治療
☐・☐	12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1500		5回以内	予防・治療
	2	ロブラール水和剤	1000		4回以内	予防・治療

※1 希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています（例：2000～3000倍登録→2000）

※2 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて4回以内）

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

農作業安全 管理機による巻き込まれ事故注意！

食の安全安心 農薬の調合順序①展着剤②乳剤③フロアブル・水和剤の順

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば 営農支援部

Z-GIS・ザルビオ普及拡大キャンペーン

J A全農ちば
営農支援部 営農企画課

1. はじめに

J A全農は比較的低コストで取り組みやすいスマート農業の普及をすすめており、営農管理システム「Z-GIS」と栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」のサービス提供を行っています。この度、これら2つの利用を始めやすいキャンペーンを実施します。

2. キャンペーン内容

(1) 期間：令和4年12月1日～令和5年3月31日

(2) 内容

① Z-GIS

【新規入会者最長4か月間利用料が無料！】

キャンペーン期間中に「Z-GIS」へ新規加入した方は、加入当月を含め最長4か月間利用料が無料となります（通常は最長2か月間）！なお、再入会は新規入会の対象にはなりませんのでご注意ください。

② ザルビオフィールドマネージャー

【JAタウンクーポン最大4,000円分プレゼント！】

キャンペーン期間中にダイレクトメール・専用チラシからJAタウン専用サイトを経由し、掲載商品のアクティベーションコードを新規または更新で購入した方に、JAタウンクーポンを最大4,000円分プレゼントします！

商品名	販売金額	クーポン提供
【プレミアム100】ザルビオフィールドマネージャー用アクティベーションコード	13,200円	2,000円分
【プレミアム200】ザルビオフィールドマネージャー用アクティベーションコード	18,700円	3,000円分
【プレミアム300】ザルビオフィールドマネージャー用アクティベーションコード	24,200円	4,000円分
【トップアップ100】ザルビオフィールドマネージャー用アクティベーションコード	5,500円	1,000円分

③ 共通

【新規入会者向け初級WEB講習会実施！】

下記の日程にて実施します。各回17時から（1時間程度）ですので、ご都合のよろしい日程にてご参加ください。

(ア) Z-GIS：12/21（水）、1/25（水）、2/22（水）、3/24（金）

(イ) ザルビオ：12/22（木）、1/26（木）、2/24（金）、3/23（木）

3. 活用状況について

(1) Z-GIS

水稻を中心に利用が拡がり、園芸品目やJA業務への活用においても徐々に利用されつつあります。様々な活用方法がありますが、現在は下記の場合面で活用されることが多いです。

ア. 技の伝承

先代の記憶やメモ書きをデジタル記録し、次世代へ伝承するツールとして使用されています。

イ. GAP管理

第3者が把握しやすい管理データを作成したり、膨大な資料を体系的に管理するのに使用されています。

ウ. 作業受託の管理

E x c e l ベースで情報管理できる利点を活かし、項目を法人経営に必要な情報に絞り管理するのに使用されています。作業管理や書類申請に役立っているという事例もあります。

エ. 栽培データの管理

日々の作業管理記録に使用されています。ドローンを導入した方が、カメムシ防除の作業計画や作業記録に使用しているという事例もあります。

オ. 担い手法人の農地台帳管理

組合員から問い合わせがあった際、迅速に対応するためのデータベースとして使用しています。委託管理にも活用できます。

(2) ザルビオフィールドマネージャー

水稻を中心に、「生育予測機能の活用による圃場管理効率化」や「植生マップや地力マップ（衛星リモートセンシング）の活用による可変施肥」などの利用が少しずつ進んでいます。

しかし、千葉県ではまだまだ「生育予測機能」の予測精度が十分ではありません。これは千葉県が全国的に見て早場米の産地であり、予測精度を向上させるためのデータが不足しているためです。

千葉県内では現状、「今後に期待のシステム」として発展途上であることを理解いただきながら活用をいただいております。

J A 全農ちばでは今後、予測精度が向上するようデータを収集していくことや、より有益な活用方法を確かめるべくモニター実証試験に取り組んでいきます。

4. こんな方におすすめ！

(1) Z-G I S

営農管理システム「Z-G I S」はE x c e l ベースのデータ管理ができ、手軽にはじめられることから、以下のような方に使ってほしいと考えています。

ア. 簡単にスマート農業をはじめたい方

スマート農業に取組み経営上の課題を解決したいが、どこからやっていいか解からないという方、低コストでスマート農業を始めてみたい方、などにおすすめです。

イ. 経営規模の変化や気候の変化に対応していきたい方

管理する圃場の規模が拡大し、効率的に圃場の情報を管理したり、従業員等と情報を共有したい方、毎年の栽培記録を作成し、気象等を加味して振り返りをしたい方、などにおすすめです。

ウ. 次の世代に繋いでいきたい方

栽培記録や経営データ、自身の経験などを次の世代に伝えたい方、先代の経験を教えてもらいたい方、J A においても業務を次の担当に効率よく引き継ぎたい方、などにおすすめです。

(2) ザルビオフィールドマネージャー

発展途上のシステムであることをご理解いただき、下記のような活用場面を想定して検証を行いながらスマート農業の有効活用を進めたい方。

ア. 衛星リモートセンシング活用の可変施肥等による栽培管理の実施。

イ. A I 分析活用の減収リスク低減による安定した生産の実施。

5. さいごに

J A 全農ちばはスマート農業ツールを適切に活用し、生産者が持続的に営農を維持、発展できるよう、また J A が事業を継続、発展できるよう、さらなる取り組みを進めていきます。

安全な農作物生産の取り組みについて

～燃料の保管方法～

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

燃料の管理方法が適正でない場合、火災や、漏出による青果物・土壌汚染のリスクが発生します。燃料の適切な保管方法は消防法および市町村の火災予防条例により定められています。以下の点が重要ですので、この機会に再確認しましょう。

- (1) 燃料の近くに燃えやすいものを置かない。タバコなど引火の危険性がある行為をしない。
- (2) 燃料を収納する容器は破損・腐食等の無い適切なものを使用し、風通しの良い冷暗所で保管する。火気厳禁等の表示をする。
- (3) 燃料の流出に備える（防油堤・吸着用の砂の用意等）。

2. 燃料の保管容器について

安全のため、適切な容器で保管しましょう。特に灯油用ポリ容器にガソリンを入れると以下の問題が生じることから極めて危険なため、消防法により禁止されています。

- (1) ガソリン成分によりポリ容器が変形し、ガソリンが漏出する恐れあり！
- (2) キャップが劣化している場合、ガソリン蒸気圧により蓋が外れる恐れあり！
- (3) ポリ容器はガソリンとの流動による摩擦で静電気が溜まり、引火する恐れあり！



画像：危険物保安技術協会HPより引用

3. 燃料の貯蔵量に応じた法令対応について

消防法に適合した容器で保管する場合でも、貯蔵量により法令順守への対応が変わります。指定数量の5分の1以上を貯蔵する場合は、安全性の高い設備を備え、管轄する消防機関への届け出等が必要となります。消防法や市町村の火災予防条例について、今一度確認してみましょう。

種類		燃料の例	指定数量・5分の1の量
第四類 引火性液体	第一石油類	ガソリン	200ℓ・40ℓ
	第二石油類	灯油・軽油	1000ℓ・200ℓ
	第三石油類	重油	2000ℓ・400ℓ

例) ガソリン 40ℓ以上～200ℓ未満を貯蔵する場合は、前述の防火対策等を備え、消防機関へ届け出が必要。200ℓ以上では消防機関の許可が必要。